



## コンクリートのひび割れ抑制工法の検証に 新型コンクリート有効応力計

Electronic  
Measurement  
Service

○ 山岳トンネル／地下構造	シールドトンネル	地盤／山留め	基礎／ケーソン
近接施工	斜面防災	○ コンクリート構造	ダム・メンテナンス
○ 鉄道関連	○ 道路関連	○ 橋梁関連	エネルギー関連

### ◆ 概要

道路高架橋の鋼床版上に設けるコンクリート製壁高欄は、収縮ひずみが拘束されてひび割れが生じやすく、この対策として最近では膨張コンクリートを施工することが多くなりました。その効果の検証を行うために若材齢対応の有効応力計を設置して直接、応力を測定しました。

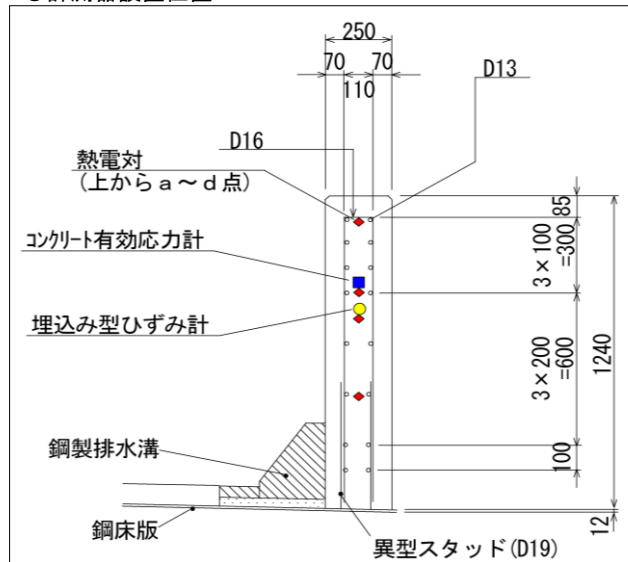
### ◆ 特徴

- 新型有効応力計は若材齢時から精度良く測定でき、コンクリート打設当初から生じる温度ひずみや収縮ひずみの拘束による引張応力度を監視できます。
- 小型の応力計(30×30mm角×300mm)により、壁高欄や鋼・コンクリート合成床版などの薄い構造にも適用できます。

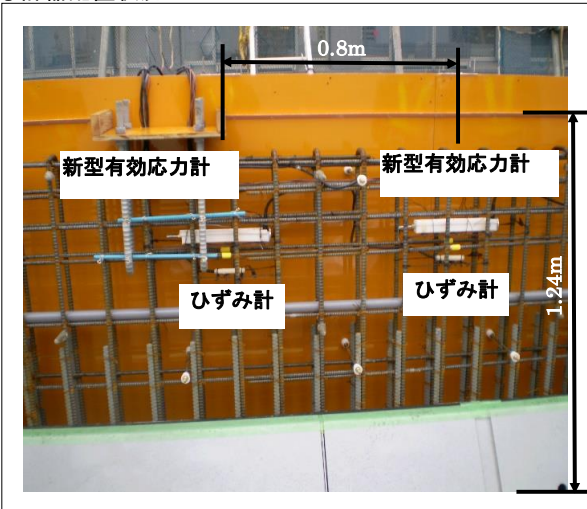
### ● 壁高欄の状況



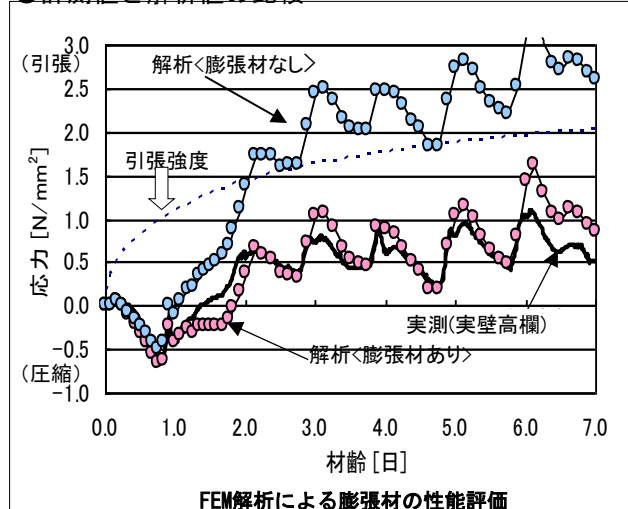
### ● 計測器設置位置



### ● 計器配置状況



### ● 計測値と解析値の比較



お問い合わせ



東横エルメス

製造部

営業部

TEL (046) 233-7715 (代)

TEL (03) 5829-6088 (代)